

# 北海道 ウォーキング・ルート情報 釧路・根室圏

所在場所	北海道川上郡弟子屈町
コースの名称	つつじヶ原
コースのご紹介	100%におよぶ白つつじの景観はここでしか見られない。通常、ハイマツは本州では標高2500m以上のところにはえるが、ここではわずか標高150mのところにはハイマツ群がみられる。6月10日～9月10日まで、毎朝（に5:45集合）川湯温泉街から硫黄山まで地元のガイドがついての散策会が行われている（参加料 帰りのバス代として250円）。

パンフレット  
拡大できます

始点・終点	硫黄山及び川湯相撲記念館裏	
距離	2.5km	
所要時間(目安です)	約55分	
利用可能期間	基本的には年中可能（冬季除雪等なし）	
案内標識	あり	
トイレ・休憩施設	トイレ（硫黄山駐車場横、硫黄山第二駐車場横） 休憩所（硫黄山レストハウス 営業時間中のみ）、展望台	
交通アクセス	公共交通機関	JR川湯温泉駅から川湯温泉行き約10分
	自家用車	釧路市から約120分
	駐車場	あり：有料 硫黄山駐車場（夏季）普通車410円 無料 硫黄山第二駐車場無料
周辺観光資源等	川湯温泉、硫黄山など近くに存在。 摩周湖、屈斜路湖にも車で15分ほどあれば行ける。	
管理主体 (問い合わせ先)	名称	<a href="#">弟子屈町経済観光課</a>
	住所	弟子屈町中央2丁目3番1号
	電話	015-482-2191

# 火山活動にも 負けない花。



## 硫黄に耐える エゾイソツツジの群生。

### 【つつじヶ原】

硫黄山周辺は噴煙が強く、火山灰の蓄積によってできた保水力の乏しい酸性土壌です。一般の植物は育たない環境のため、硫黄にも耐えられる植物しか生息できません。エゾイソツツジは高山に生える小低木ですが、競争相手のいないこの場所では100haもの大群落があり、つつじヶ原は道内一の景勝地。6月中旬〜7月上旬にかけて白い手まりのような花が一面に咲き、厳しい環境下でも生き抜く、たくましさを感じます。また、高山植物のハイマツは、本州では標高2500m以上、大雪山でも1500m以上でなければ見られませんが、ここはわずか1500mなのにハイマツの群落が広がっています。



## およそ5百年前に 誕生したつつじヶ原。

硫黄山(アトサヌプリ)、かぶと山(マクワンチサップ)、帽子山(サワンチサップ)は、いまから2千年前から5百年前にかけて、火山活動によって誕生した山です。裸地になったこの一体に、およそ5百年前から、エゾイソツツジやハイマツなどの高山植物の群落が生じたと考えられています。つつじヶ原にあるハイマツは1年間に約1回しか太くならず、100〜150年前のものが多くいます。この他、8月ごろに紫黒色の実をつけるガンコナラン、小さなタギのような形をしたスキゴケ、オレンジ色の胞子を持つハナゴケなどを見ることができます。



## DATA

- 花の種類と開花時期：エゾイソツツジ(6月中旬〜7月上旬)
- イベント：摩周温泉夏まつり(7月中旬)、摩周湖星紀行(6月上旬〜10月下旬)
- 駐車場：150台
- トイレ：川湯エコミュージアムセンター
- 周辺の温泉・宿泊施設・飲食施設：川湯温泉、摩周温泉、屈斜路・和琴・仁伏温泉、和琴半島付け根の露天風呂、屈斜路湖コタンの露天風呂、池の湯、砂湯/宿泊施設・飲食店多数
- 交通アクセス：JR川湯温泉駅から車で約5分、女満別空港から車で約60分
- 所在地：弟子屈町川湯温泉
- お問い合わせ先：川湯エコミュージアムセンター  
tel 015-483-4100 fax 015-483-4111

## ＊花カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
□エゾイソツツジ				■			



## 朝の散策会を行う ボランティアガイド。

川湯温泉街から片道2.5km、つつじヶ原の散策路を地元のボランティアガイドが案内してくれます。朝5時45分に川湯園地をスタートし、ミズナラ、シラカバ、アカエゾマツなどの林の中へ。展望が開くと、そこがエゾイソツツジの大群落。その先を進むと景色が転じ、硫黄が激しく噴出する硫黄山が間近に迫ります。ボランティアガイドは現在8人。花や植生の説明だけでなく、ガイドの温かい人柄にもふれられます。期間は6月初旬〜9月中旬まで。朝の散策路のスタート地点から800mは、土と木片のチップをまぜて合成樹脂で固めたバリアフリーロードが整備されており、体が不自由な方でも安心して散策が楽しめます。



## 活火山の歴史や 不思議がいろいろ。

硫黄山のガスが噴き出すあたりに見られる黄色い塊は硫黄の結晶です。明治初期から20年近く硫黄鉱として採掘されてきました。薬剤や火薬の原料として中国やアメリカに輸出されていたのです。硫黄山の北西にある小さな丘はボンボン山と呼ばれ、地熱の影響で冬も雪が積もりません。地面を勢いよく踏みとボンボンと響くような音がします。硫黄山の麓にはポツカリと樹木がなく、火山の噴気のために穴がたぐさできたボツケがあります。雨の日は表面の泥がボコボコと煮えたぎるように噴き出すようですが見られません。どちらにもゴロゴロの仲間のマダラズが生息し、真冬でもシューシューという鳴き声が聞かれます。

